

FX NEWS PRESS

2025年
1月号

2025年1月7日発行
FXニュースプレス
(No.217)

AIゴールド証券
コンサルティング部
Tel: 03-6861-8181

今月の注目通貨ペア (P3)

米ドル円

トランプ新政権の政策に
注目

【各種掲載のご案内】

- ▶ HP内でもFX NEWS PRESSや週間のテクニカルレポートWeek Ryreportを公開！
- ▶ FXやコモディティ、株価指数の市場情報を日々更新！マーケットコメント！で公開！

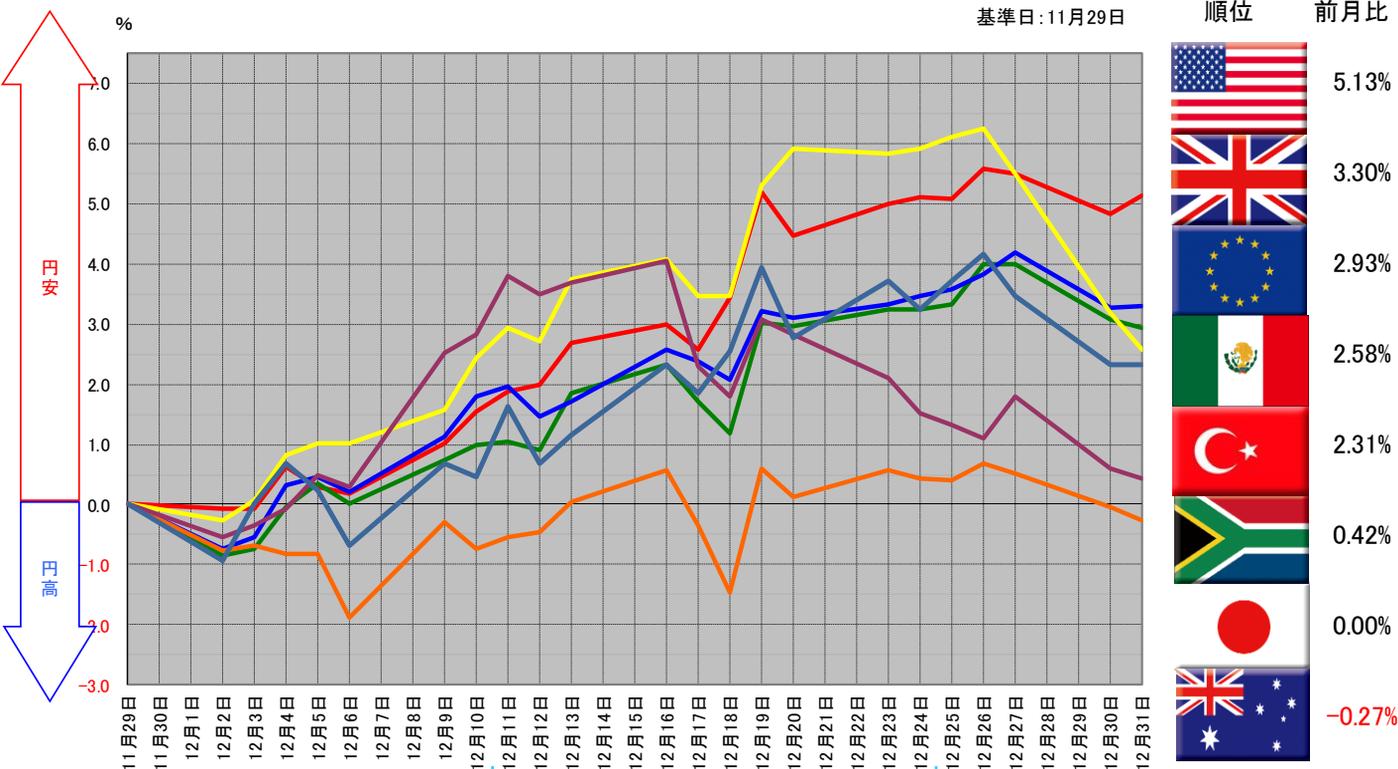
詳しくはホームページをご覧ください

AIゴールド証券 <https://www.aigold.co.jp>

AIゴールド証券株式会社 東京都中央区日本橋久松町12-8 03-6861-8181 金融商品取引業者 [関東財務局長(金商)第282号]
一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員 日本商品先物取引協会会員



12月31日時点評価



12月3日 韓国情勢不安が急台頭

韓国の尹錫悦大統領が非常戒厳を宣言したことをきっかけに韓国ウォンに対する円買いやリスク回避の円買いが加速した。節目の149円を割り込み、一時148.65円と10月11日以来の安値を付けた。ただ、韓国当局者が「必要に応じ市場に無制限の流動性を供給する」と表明したほか、韓国で開かれた臨時国会で「戒厳令解除の決議案」が満場一致で可決されると149円台半ばまで持ち直し、149円台半ばで取引を終了した。

12月6日 米雇用統計

本日発表の11月米雇用統計で非農業部門雇用者数は+22.7万人と予想の+20.0万人を上回ったほか、11月米平均時給も予想より強いなど概ね良好な内容だったが、失業率が予想外に上昇したほか、ハリケーンやストライキで悪化した10月からの改善が不十分との見方で発表後はドル売りが優勢となった。市場では「利下げ予想を覆すほどの内容ではなかった」との見方から一時149.37円まで下落した。

12月9日 中国緩和策への期待

中国共産党指導部は金融政策のスタンスを「穏健な」から「適度に緩和的」に変更すると発表。財政政策についても「より積極的な」とし、従来の「積極的な」から表現を強めた。中国の景気浮揚期待を背景に投資家心理が楽観に傾くと、リスクオンの円売りが優勢となった。また、米長期金利が4.20%台まで上昇したことも相場の支援となり、一時151.35円と11月29日以来の高値を付けた。

12月11日 カナダ中銀政策金利

カナダ銀行(BOC)はこの日、政策金利を現行の3.75%から0.50%引き下げて3.25%にすることを決めたと発表した。市場の予想通り大幅な利下げとなった。ただ、声明で「今後は、追加利下げの是非について会合ごとに判断していく」と表明し、緩和ペースの減速を示唆するとカナダドル買いが優勢になりました。米ドルカナダドルは一時1.4120カナダドルまで下落したほか、カナダドル円も一時107.91円まで値を上げた。

12月13日 日銀利上げ見送り観測

日本銀行は「来週の金融政策決定会合で、政策金利引き上げの見送りを検討している」「米経済の先行きに不透明感が高まっているうえ、春闘の賃上げ動向を確認したい考えで、利上げを急ぐ必要はない」との判断に傾きつつある」との観測報道をきっかけに円売り・ドル買いが優勢となった。また、米利下げペースが緩やかになるとの見方から、ドル買いも強まり一時153.80円と11月26日以来の高値を更新した。

12月18日 FOMC政策金利

米連邦準備理事会(FRB)は今日まで開いたFOMCで市場予想通り0.25%の追加利下げを決めたと発表。ただ、同時に公表されたFOMCメンバーの金利見通し(ドット・プロット)では、2025年末時点の中央値が上方修正され、利下げ回数が2回と9月の見通しから半減した。また、パウエル議長が会見で「今回の利下げ決定はぎりぎりの判断だった」と発言すると、一時154.87円と日通し高値を更新した。

12月20日 ドル売り優勢

米連邦準備理事会(FRB)が金融政策を判断するうえで重視している米国の11月コアPCE(個人消費支出)価格指数は上昇予想に反して前月と同水準にとどまり、個人所得や個人消費支出も予想を下回ったことで全般ドル売りが優勢となり、一時155.96円と日通し安値を更新した。また、日本の政府高官からは足もとの円安をけん制する発言が相次いだことも、政府・日銀による為替介入への警戒感となった。

12月23日 米利下げペース減速観測

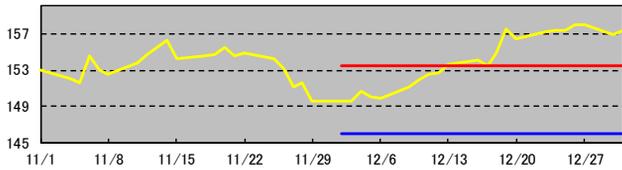
米利下げペースが鈍化するとの観測を背景に米長期金利の指標となる米10年債利回りが4.59%台まで上昇すると円売り・ドル買いが優勢となった。また、トランプ次期政権下で財政赤字が拡大するとの観測などから米金利先高観が根強い。一方、日銀は追加利上げを慎重に判断する姿勢を示しており、日米金利差が開いた状態が長引くとの観測を受けて円が売られ、一時157.27円と日通し高値を更新した。

12月26日 ドル円一時158円台回復

植田総裁は25日の講演で「今後の金融政策運営はトランプ次期政権の動向や来年の春闘に向けた動きを注視する」との考えを表明したことから、日銀は追加利上げに慎重との見方が広がり、円売りが出やすい地合いとなった。また、この日発表の新規失業保険申請件数が予想より強かったことで、長期金利が5月2日以来の高水準を更新。一時158.08円と7月17日以来の高値を付けた。

ドル円

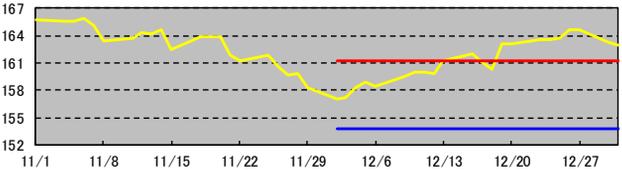
予想レンジ下限	予想レンジ上限
146.10	153.50



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを上抜けて推移した。

ユーロ円

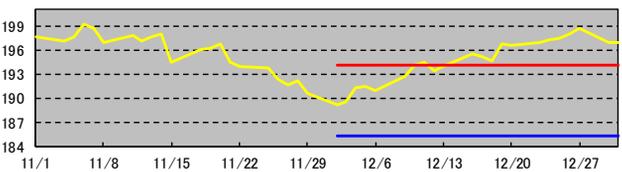
予想レンジ下限	予想レンジ上限
153.80	161.18



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを上抜けて推移した。

ポンド円

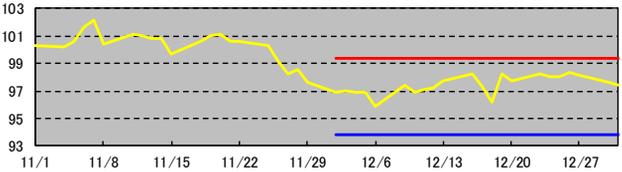
予想レンジ下限	予想レンジ上限
185.30	194.20



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを上抜けて推移した。

豪ドル円

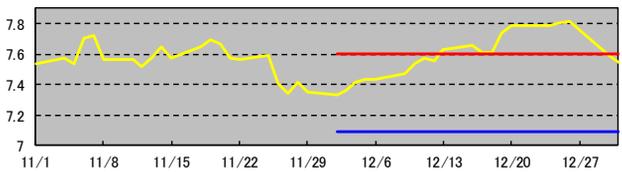
予想レンジ下限	予想レンジ上限
93.80	99.40



逆張り方針 評価【○】
コメント
予想レンジ内で推移した。

ペソ円

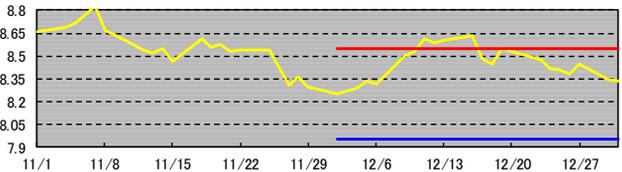
予想レンジ下限	予想レンジ上限
7.09	7.60



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジを上抜けて推移した。

ランド円

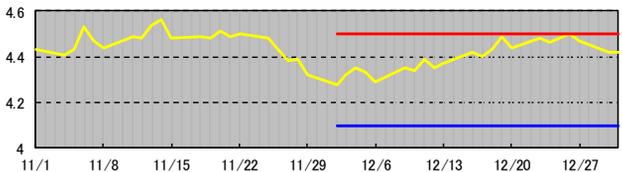
予想レンジ下限	予想レンジ上限
7.95	8.55



逆張り方針 評価【△】
コメント
一時、予想レンジを上抜けた。

トルコ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
4.10	4.50



逆張り方針 評価【○】
コメント
予想レンジ内で推移した。

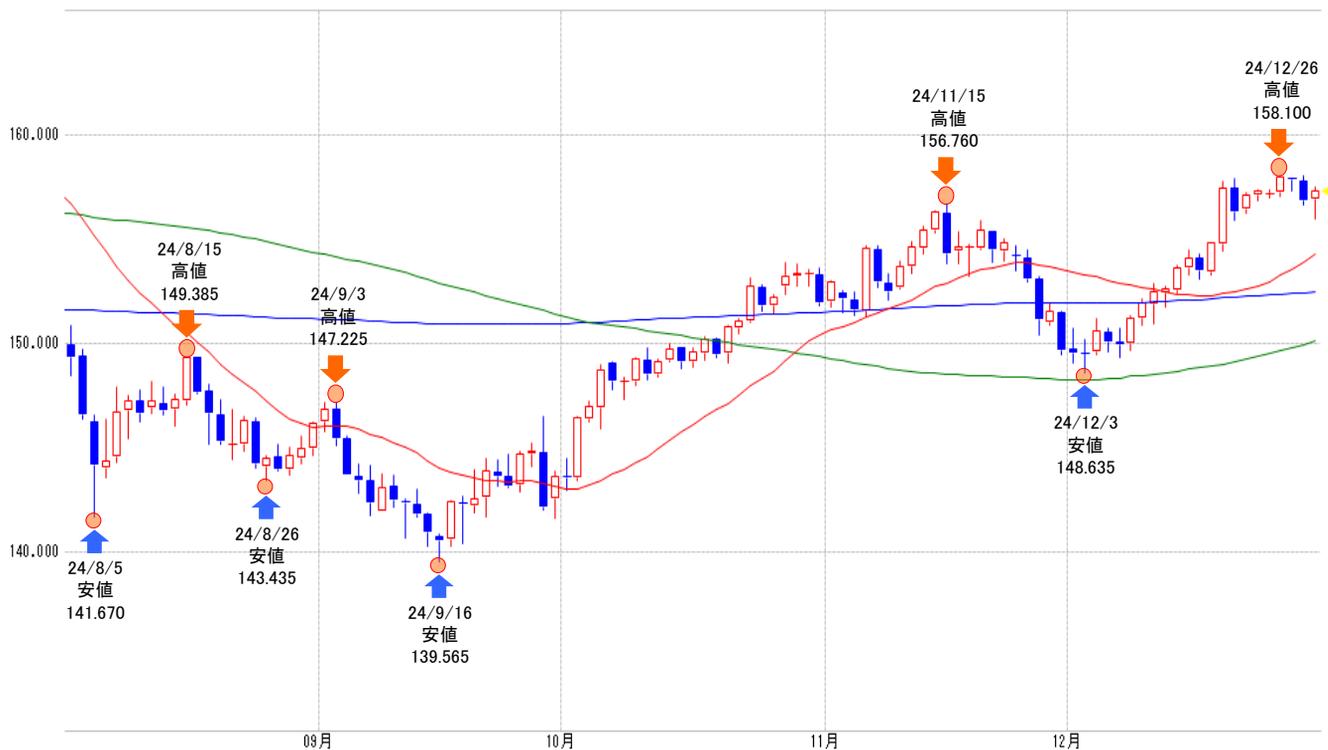
米ドル/円 【逆張り方針】

予想レンジ
 ↑ 162.00円
 ↓ 153.50円



2024年8月1日～2024年12月31日
 米ドル/円 [日足]

移動平均線：-短期(21)-中期(89)-長期(200)



メイン
シナリオ 70%

実線は、10/15安値(148.84)をサポートに、切り返しの動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。7/1高値(161.96)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、12月の値動きから導き出した計算値(153.51)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(153.50)を下抜けた場合。この場合は89日移動平均線(150.13)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
1/4 0:00	12月ISM製造業景気指数		48.4	★★
1/8 0:00	12月ISM非製造業景気指数		52.1	★★
1/10 22:30	12月失業率		4.20%	★★
1/14 22:30	12月生産者物価指数(前年比)		3.0%	★★
1/15 22:30	12月消費者物価指数(前年比)		2.70%	★★
1/16 22:30	12月小売売上高(前月比)		0.70%	★★
1/17 22:30	12月設備稼働率		76.8%	★★
1/19 4:00	1月製造業PMI		48.30%	★★
1/30 4:00	FRB政策金利(下限～上限)		4.25%～4.50%	★★★
1/30 22:30	第4四半期 実質GDP(前期比年率)		2.80%	★★

〈相場の格言〉大きな儲けの約束は果たさない(儲け話が大きくなるほど実現は遠のくものである。)



2024年8月1日～2024年12月31日
 ユーロ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、9/17安値(156.08)をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日・89日移動平均線は上昇、200日移動平均線は下降しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。11/7高値(165.94)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、12月の値動きから導き出した計算値(157.31)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(157.30)を下抜けた場合。この場合は8/5安値(154.41)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
1/2 18:00	12月製造業PMI		45.2	★★
1/7 19:00	12月消費者物価指数(コア)(前年比)		2.7%	★★
1/7 19:00	11月失業率		6.30%	★★
1/8 19:00	11月生産者物価指数(前年比)		-3.20%	★★
1/8 19:00	12月景況感指数		95.8	★★
1/15 22:15	11月鉱工業生産指数(前年比)		-1.20%	★★
1/24 18:00	1月製造業PMI		-2.80%	★★
1/30 19:00	第4四半期GDP(前年比)		0.9%	★★
1/30 19:00	12月失業率			★★
1/30 22:15	ECB政策金利		3.15%	★★★

<相場の格言>人生は運・鈍・根(根は根気。鈍は鈍重、才走って賢い人は言われるほど成功しない。)

ポンド/円 【逆張り方針】

予想レンジ

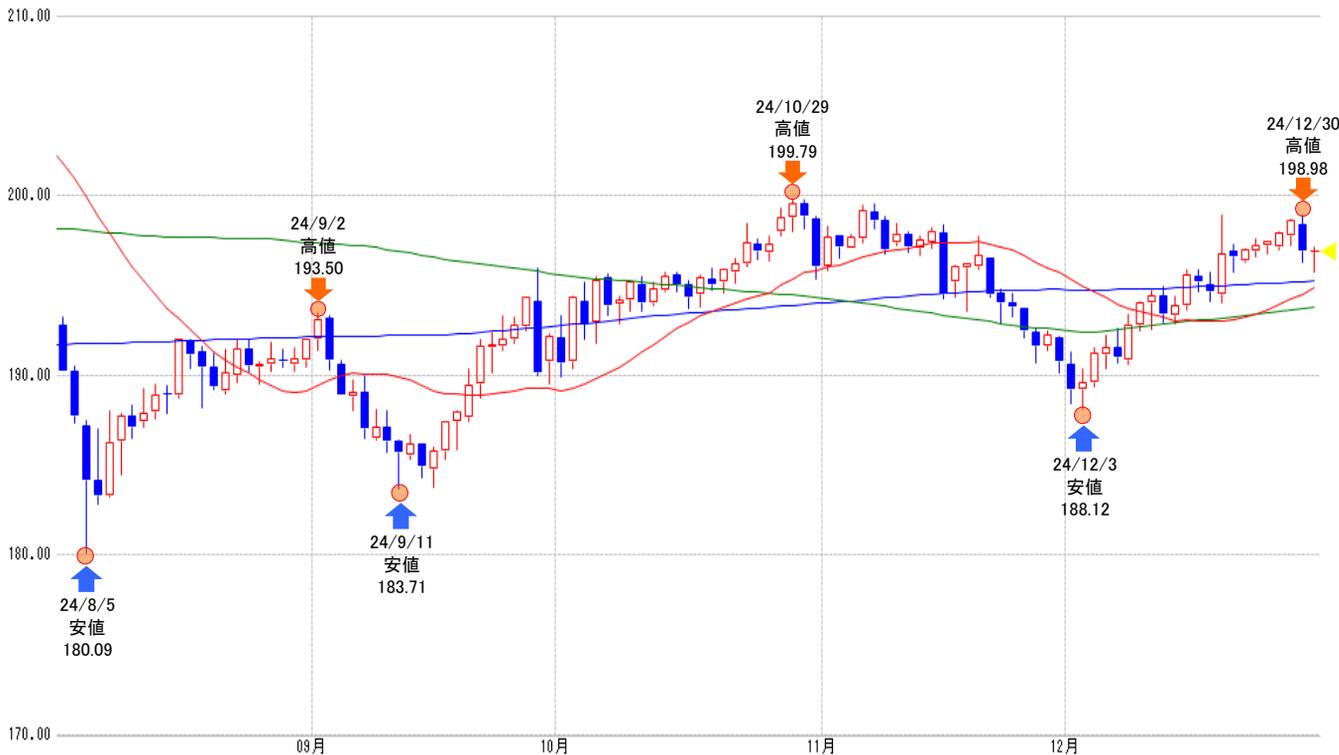
↑ 200.20円
↓ 189.30円



2024年8月1日～2024年12月31日

ポンド/円 [日足]

移動平均線：-短期(21)-中期(89)-長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、節目188円をサポートに、切り返しの動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。12月の値動きから導き出した計算値(200.20)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、12/4安値(189.35)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(189.30)を下抜けた場合。この場合は9/17安値(185.32)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
1/2 18:30	12月製造業PMI		47.3	★★
1/6 18:30	12月サービス業PMI		51.4	★★
1/7 18:30	12月建設業PMI		55.2	★★
1/15 16:00	12月消費者物価指数(前年比)		2.60%	★★
1/15 16:00	12月生産者物価指数(仕入)(前年比)		-1.9%	★★
1/15 16:00	12月小売物価指数(前年比)		3.6%	★★
1/16 16:00	11月鉱工業生産指数(前年比)		-0.70%	★★
1/17 16:00	12月小売売上高(前年比)		0.50%	★★
1/21 16:00	12月失業率		4.6%	★★
1/24 18:30	1月製造業PMI		47.3	★★

〈相場の格言〉群盲、象を評す(相場でも全体が見えないと部分だけで判断してしまいがちである。)



メインシナリオ 70%

実線は、中期のトレンドを示す89日移動平均線が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。21日移動平均線は上昇、89日・200日移動平均線は下降しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。12月の値動きから導き出した計算値(99.68)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、12/6安値(95.52)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(95.50)を下抜けた場合。この場合は9/16安値(93.88)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
1/8 9:30	11月消費者物価指数(前年比)		2.1%	★★
1/9 9:30	11月小売売上高(前月比)		0.6%	★★
1/16 9:30	12月雇用者数(前月比)		3.56万人	★★
1/16 9:30	12月失業率		3.9%	★★
1/16 9:30	第4四半期消費者物価指数(前年比)		2.8%	★★
1/29 9:30	12月消費者物価指数(前年比)		4.1%	★★
1/31 9:30	第4四半期生産者物価指数(前年比)		3.90%	★★

メキシコペソ/円 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 7.910円
↓ 7.350円



2024年8月1日～2024年12月31日

メキシコ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、11/27安値(7.280)をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日・89日移動平均線は上昇、200日移動平均線は下降しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。12月の値動きから導き出した計算値(7.910)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、12/4安値(7.350)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(7.350)を下抜けた場合。この場合は9/12安値(7.155)を試す展開が考えられます。

@ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
1/3 21:00	11月失業率		2.50%	★★
1/9 21:00	12月消費者物価指数(前年比)		4.55%	★★
1/10 21:00	11月鉱工業生産指数(前年比)		-2.20%	★★
1/27 21:00	12月貿易収支		-1.33億USD	★★
1/29 21:00	12月失業率			★★
1/30 21:00	第4四半期実質GDP(前期比)		1.60%	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)



2024年8月1日～2024年12月31日
 ランド/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、11/13高値(8.635)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。しかし21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。12/16高値(8.650)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、12月の値動きから導き出した計算値(8.145)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(8.140)を下抜けた場合。この場合は9/17安値(7.955)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	国	イベント	結果	前回	注目度
1/10 22:30	カナダ	12月失業率		6.80%	★★
1/21 22:30	カナダ	12月消費者物価指数(前年比)		1.90%	★★
1/22 17:00	南ア	12月消費者物価指数(前年比)		2.90%	★★
1/24 8:30	日本	12月消費者物価指数(前年比)		2.90%	★★
1/24 時間未定	日本	日銀政策金利		0.25%	★★★★
1/29 23:45	カナダ	カナダ中銀政策金利		3.25%	★★★★
1/30 22:00	南ア	南ア中銀政策金利		7.75%	★★★★
1/31 8:30	日本	12月完全失業率		2.5%	★★
1/31 8:30	カナダ	11月実質GDP(前年比)		1.90%	★★
					★★

<相場の格言>騰げは別々、下げは一緒(相場上昇時は業種等によって別々に上昇するが、下落時は同時に下げる。)

トルコ/円 【逆張り方針】

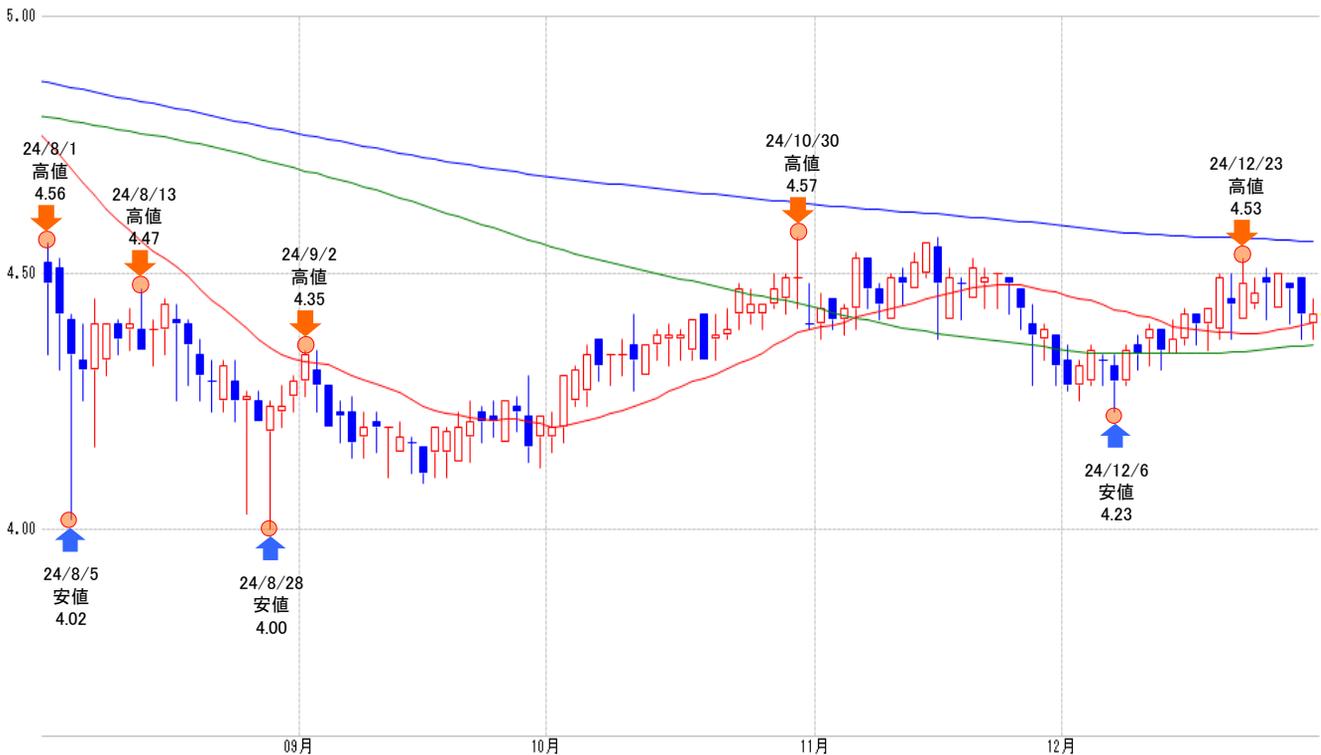
予想レンジ ↑ 4.60円
↓ 4.20円



2024年8月1日～2024年12月31日

トルコ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、10/4安値(4.24)をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日・89日移動平均線は上昇、200日移動平均線は下降しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。11/15高値(4.57)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、12月の値動きから導き出した計算値(4.24)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(4.20)を下抜けた場合。この場合は9/16安値(4.09)を試す展開が考えられます。

@ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
1/2 16:00	12月製造業PMI		48.3	★★
1/3 16:00	12月消費者物価指数(前年比)		47.09%	★★
1/3 16:00	12月生産者物価指数(前年比)		29.47%	★★
1/10 16:00	11月失業率		8.80%	★★
1/10 16:00	11月鉱工業生産指数(前年比)		-3.10%	★★
1/10 16:00	1月消費者信頼感指数		79.8	★★
未定	11月経常収支		18.8億USD	★★
未定	1月設備稼働率		75.80%	★★
1/23 20:00	トルコ中銀政策金利		47.50%	★★★
未定	12月貿易収支		-74.6億USD	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすペリの反対現象であるから売りは不利と考える。)

ユーロ/米ドル 【逆張り方針】

予想レンジ
 ↑ 1.0460
 ↓ 1.0080



2024年8月1日～2024年12月31日

ユーロ/米ドル [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、11/13高値(1.0654)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。12/30高値(1.0456)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、12月の値動きから導き出した計算値(1.0082)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(1.0080)を下抜けた場合。この場合は22/11/10安値(0.9936)を試す展開が考えられます。

② スワップポイント実績表 (月別合計/1枚あたり)

		ドル/円	ユーロ/円	ポンド/円	豪ドル/円	メキシコ/円	ランド/円	トルコ/円	ユーロ/ドル
24年	1月	7,028円	5,718円	8,686円	3,763円	8,357円	5,283円	1,194円	-10.27ドル
	2月	6,703円	5,388円	8,211円	3,514円	7,499円	5,145円	1,163円	-12.68ドル
	3月	6,753円	5,536円	8,375円	3,647円	7,632円	5,082円	1,324円	-11.39ドル
	4月	7,955円	6,402円	9,682円	4,224円	9,036円	5,833円	1,357円	-13.32ドル
	5月	6,864円	5,509円	8,436円	3,703円	8,046円	5,202円	974円	-14.85ドル
	6月	6,759円	5,253円	8,369円	3,783円	7,318円	5,098円	1,119円	-13.73ドル
	7月	7,861円	5,997円	9,834円	4,597円	8,251円	6,120円	1,396円	-16.90ドル
	8月	6,511円	4,991円	7,880円	3,348円	6,654円	5,226円	1,324円	-15.55ドル
	9月	6,093円	4,790円	7,760円	3,323円	6,180円	4,795円	1,085円	-14.46ドル
	10月	6,827円	5,110円	9,117円	3,981円	7,344円	5,708円	1,124円	-15.49ドル
	11月	5,464円	3,995円	7,115円	3,203円	6,378円	4,857円	896円	-12.14ドル
	12月	6,885円	4,858円	9,366円	3,772円	7,845円	5,755円	1,212円	-16.18ドル
	計	81,703円	63,547円	102,831円	44,858円	90,540円	64,104円	14,168円	-166.96ドル

<相場の格言>総強気は売れ、総弱気は買い(つきつめていけば、相場とはそういうものである。)

【各国基礎データ】

		日本	米国	ユーロ	英国	豪州	NZ	カナダ	南ア	トルコ	メキシコ
政策金利	2024年7月	0.25	5.50	4.25	5.00	4.35	5.50	4.50	8.25	50.00	11.00
	2024年8月	0.25	5.50	4.25	5.00	4.35	5.25	4.50	8.25	50.00	10.75
	2024年9月	0.25	5.00	3.65	5.00	4.35	5.25	4.25	8.25	50.00	10.75
	2024年10月	0.25	5.00	3.40	5.00	4.35	4.75	3.75	8.00	50.00	10.50
	2024年11月	0.25	4.75	3.40	4.75	4.35	4.25	3.75	7.75	50.00	10.25
	2024年12月	0.25	4.50	3.15	4.75	4.35	4.25	3.25	7.75	47.50	10.00
失業率	2024年6月	2.5	4.1	6.5	4.4	4.1	4.6	6.4	33.5	9.2	2.8
	2024年7月	2.7	4.3	6.4	4.7	4.2	4.8	6.4	32.1	8.8	2.9
	2024年8月	2.5	4.2	6.4	4.7	4.2	4.8	6.6	32.1	8.5	3.0
	2024年9月	2.4	4.1	6.3	4.7	4.1	4.8	6.5	32.1	8.6	2.9
	2024年10月	2.5	4.1	6.3	4.7	4.1	-	6.5	32.1	-	-
	2024年11月	2.5	4.2	-	4.6	3.9	-	6.8	32.1	-	-
GDP	2023年 2Q	4.8	2.1	0.6	0.6	2.1	1.8	-0.2	1.6	3.8	3.6
	2023年 3Q	-2.9	4.9	0.1	0.2	2.1	-0.6	-1.1	-0.7	5.9	3.3
	2023年 4Q	0.4	3.9	0.1	-0.2	1.5	-0.3	1.0	1.2	4.0	2.5
	2024年 1Q	-1.8	2.8	0.6	0.3	1.1	0.3	1.1	0.5	5.7	2.2
	2024年 2Q	0.9	2.8	0.9	1.0	1.0	-0.5	2.1	0.3	2.5	1.5
	2024年 3Q	1.2	3.1	0.9	0.9	0.8	-1.5	1.9	-	2.1	1.6
10年国債	2024年7月	1.061	4.056	2.302	3.971	4.116	4.360	3.184	9.405	26.58	10.156
	2024年8月	0.891	3.909	2.290	4.016	3.973	4.302	3.160	9.200	26.73	10.032
	2024年9月	0.864	3.787	2.132	4.009	3.963	4.279	2.956	8.845	28.49	9.679
	2024年10月	0.943	4.296	2.392	4.449	4.572	4.532	3.246	9.315	30.61	10.424
	2024年11月	1.044	4.177	2.087	4.244	4.372	4.468	3.083	8.903	27.35	9.896
	2024年12月	1.082	4.573	2.362	4.566	4.367	4.588	3.225	9.035	27.15	10.416

【免責事項】

- AIゴールド証券(株)は、本情報に記載の情報いづれについても、その信頼性、正確性または完全性について保証するものではありません。このような情報にはAIゴールド証券(株)により確認されていない情報が含まれていることもありますので、全てご自身のリスクでこれらをご利用下さい。本情報の中で述べられている意見は、表示の日付のAIゴールド証券(株)の判断であり、予告無しに変更されることがあります。記載内容は同意を得た場合を除き、他社に開示することはできません。
- くりっく365は為替レートやスワップポイント(金利差調整分)の変動に伴い損益の発生する商品であり、元本や収益が保証されるものではありません。
- くりっく365は取引の額が預託された証拠金に比して大きくなる(レバレッジ最大25倍まで)ため、差入証拠金以上の損失が生じる場合があります。また、建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生じる場合があります。
- くりっく365で提示する為替レートには価格差(スプレッド)があります。
- 手数料はお客様の選択された取引コースにより異なります。
【総合コース:1枚あたり片道1,100円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は1,100円のうち770円が媒介手数料となります】
【インターネットコース:1枚あたり片道220円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は220円のうち110円が媒介手数料となります】
- 注文の発注、およびポジションを維持するために必要な証拠金額は通貨ペアによって異なり、1枚あたり1,800円～81,100円(2025年1月6日現在)です。なお、必要証拠金額は所定の計算式により毎週見直されるため、変更される場合があります。
- お取引に際して、必ず契約締結前交付書面(取引所為替証拠金取引説明書)、為替証拠金取引口座設定約諾書、約款ならびにお客様向け資料の内容をよく読み、ご理解のうえお客様ご自身の判断でお取引ください。
- 「取引所FX くりっく365」は株式会社東京金融取引所の登録商標です。

【編集・発行】

AIゴールド証券株式会社 コンサルティング部

住所：東京都中央区日本橋久松町12-8 TEL：03-6861-8181(直通) E-mail：kawase@aigold.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第282号 一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員

日本商品先物取引協会会員